

## 市コミュニティバス『らん・らんバス』再編のお知らせ

～ みんなで守り・育てる地域公共交通 ～

### ●4月1日から運行内容が大きく変わります

4月1日から通院や買い物など暮らしを支える身近な生活交通として、市コミュニティバス「らん・らんバス」が大きく変わります。

平成24年8月に策定した市の公共交通施策の基本方針とする生活交通ネットワーク計画及び運行実施計画に基づき、コミュニティバスの運行見直しと、あわせて新しい運行形態による実証実験的な運行を行います。

なお、運行の見直しにあたっては、これまでのらん・らんバスの現状や課題、市民・利用者等アンケート調査結果などを踏まえました。基本1路線1台運行のなかで市域全体の一体性を高めるために各路線の乗り継ぎの利便性、重複路線や利用状況が悪い路線など非効率となっている路線の大幅見直し、公共交通空白地の解消、バス停留所の増設など大きく見直しを行っています。

詳しい時刻表や路線図、運賃などは、3月下旬に新聞折り込みなどで全世帯へお配りするほか、市役所窓口、及び市ホームページへの掲載などでお知らせします。(※すべての運行ダイヤが変わります。ご注意ください。)

### ●運行の主な見直しは？

現行のコミュニティバス5路線5台(乗車定員28人)運行から下表のとおり運行を見直します。特に大きく見直しを行うのが現行の「しづおり号」で、利用状況が最も悪く、利用需要も分散(集落が点在)していることから、コミュニティバス運行が非効率となっており、新しく「デマンド(予約)型乗合タクシー」により実証実験的に運行を行います。また、広田・松帆地域において、みなさんが利用しやすいようできるだけ地域内に停留所を設けるため、少し狭い道でも走れる10人乗りのワゴン車を採用しました。各路線の主な運行概要は次のとおりです。



(車両イメージ)

路線名「愛称」	運行形態	運行車両・台数	運行日	運行便数
中央循環線「さんちゃん号」	コミュニティバス (路線定期運行)	小型バス・4台 (乗車定員28人) ※現行車両	毎日運行(一部除く)	現行9便 →10.5便
南北幹線「ずいせん号」			毎日運行(一部除く)	現行10便 →10便
南循環線「うすしお号」			毎日運行(一部除く)	現行7便 →10便
西循環線「せい太くん号」			毎日運行(一部除く)	現行10便 →10便
北循環線(広田・松帆を運行)	コミュニティバス (路線定期運行)	ワゴン車・1台 (乗車定員9人)	毎日運行(一部除く)	広田3.5便 松帆4便
デマンド型エリア(倭文等)	デマンド(予約)型乗合タクシー (区域運行)	乗合タクシー・1台 (乗車定員3~5人)	週5日 ※祝日除く (月・火・水・金・土)	5便×2エリア

※デマンド(予約)型乗合タクシーとは、利用者の要求(予約)に対応して運行する新たな交通手段の一つです。1台の車を乗り合わせることで、利用者を送迎する交通手段で、「乗り合う」と「予約を受け付けてはじめて運行する」という考え方から、利用者間の「感謝」や「思いやり」の気持ちが大切であり、従来の路線バスやコミュニティバスとは大きく異なります。

### ●地域で公共交通を支える仕組みづくり

このたびの大きな見直しにあわせ、「運行の見直し基準」を策定します。目的は、地域公共交通をみんなで守り・育てていくため、運行内容や利用状況を定期的に検証し、地域における生活交通等に対する意見聴取や利用促進を図り、必要により運行を見直すなど、継続的に改善を加えながら地域公共交通を確保・維持していくための「運行の見直しシステム」を確立し、地域で公共交通を支える仕組みをつくっていきます。

## 市民交流センターモデル地区いよいよスタート

平成25年4月1日から松帆、伊加利、西淡志知、神代、三原志知の各地区において、市民交流センターモデル事業が、いよいよスタートします。

モデル地区については、現在の地区公民館に交流センターを併設して、窓口サービス、地域コミュニティ支援の業務などを行い、市民の皆さんの更なる利便性の向上と地域の活動拠点として利用できるセンターを目指します。

モデル地区オープン後は、交流センターの業務について検証しながら、来る27年1月に予定する市内全地区における円滑な交流センター設置を進めます。

各モデル地区では、新たに創設する地域づくり交付金を活用し、地域の課題解決のため地域づくり事業を実施する予定としています。

その他市民窓口サービスとして、住民票、印鑑証明、戸籍謄本、納税証明、所得証明、課税証明等の証明書発行を行います。(土日祝日を除く)月々金曜日午前8時30分～午後5時15分まで)

センターには、センター長をはじめ、事務局職員をそれぞれ配置し、業務運営を行います。各モデル地区配置予定のセンター長予定者は次のとおりです。

- ◆松帆地区センター長 居内和廣さん(樺田)

## 西淡中学校 校歌選考結果

昨年10月1日～11月16日まで、西淡中学校の校歌歌詞を募集いたしましたところ、16点の応募がありました。教育委員会選考会議を開催し、審査した結果、下記のとおり入賞者が決定しました。最優秀作品は、歌う生徒に夢・希望・勇気をあたえる歌詞

であり、永く地域に親しまれる校歌にふさわしいものです。

### ◆最優秀賞

工藤 和久さん(青森県)

### ◆優秀賞

阿部 佳和さん(遼南)

茂広さん(洲本市)

入賞作品の歌詞は、南あわじ市ホームページに掲載します。

## ふるさと南あわじ応援寄附金

区分	件数	金額
南あわじ市内	418件	58,866,719円
市外(島内)	58件	10,351,000円
市外(島外)	259件	30,534,940円
合計	735件	99,752,659円

寄附状況の公表(2月16日現在) 詳細は市のホームページに掲載しています

## ふるさと納税

ご寄附ありがとうございます。

※市民の皆さんには、より身近な公民館での窓口サービス等を受けられる事が出来るようになりますので、積極的に活用いただきますようお願いいたします。

## ふれあい市長室

愛する「ふるさと」のために政治生命の全てをかける

南あわじ市長 中田勝久

市民の皆様から、再度市長として三期目のご付託をいただき、政治生命の全てをかけて南あわじ市のために勇往邁進(ゆうおうまいしん)という責務を全うしてまいりたいと考えています。

かねてから申し上げてまいりましたとおり、南あわじ市はほんとうにすばらしいまちです。気候温暖にして自然に恵まれ、全国に誇れる歴史や文化、また農漁業や瓦など先人達が苦勞を重ね築き上げてきた産業、人の営みなど、自慢できる「ふるさと資源」が数多く存在します。

しかし課題は山積みです。住みたいまち、住んで良かったまち、住み続けたいまちを永続的に築き上げるには、将来への布石として実施しなければならぬ事務事業を着実に実行しなければなりません。一方、単に座して批判・評論に終始したり、誰かがするであろうと静観するだけではまちは良くなりません。例えば、地域から市への陳情の中には、地元の幹線道の整備について地権者全員の同意書を添えて申出される地区が増えてきま

市民の皆様におかれましては、自主・自立をモットーに個人の能力を最大限に発揮いただき、このすばらしい南あわじを次世代に引き継ぐためにご支援ご協力下さいますようお願いいたします。